

今号の主な記事

- ◇第3次西宮市行財政改善実施計画の主な取り組み...2面
◇「西宮市民の警察官賞」を贈呈...2面
◇「インターカレッジ西宮」受講生募集...4面
◇保健だより...8面

教育功勞者表彰

功績のあった2個人3団体に贈呈

教育委員会は、教育の振興と発展に功績のあった2個人3団体を教育功勞者として、2月28日に表彰します。
問合せは教育総務グループ (0798-353831)へ。

安野 照子さん
永年にわたり上甲子園地区青少年愛護協議会会長として、地域の青少年の健全育成のために尽力した。また、西宮市青少年愛護協議会の会長や役員として、市内全地区の青少年愛護協議会の発展にも寄与するなど、本市の青少年健全育成に大きく貢献した。

野見 康雄さん
永年にわたり西宮市展の審査員や明日をになう西宮の作家展の出品者推薦委員を務めるなど、デザイン美術の普及・振興に尽力した。また、西宮芸術文化協会会員になり、野外文化事業や芸術祭などの実行委員として積極的に取り組み、芸術文化の推進と発展に大きく貢献した。



西宮市卓球協会主催のミックスダブルス団体卓球大会



西宮市剣道連盟主催の西宮市少年剣道錬成大会



西宮市陸上競技協会(市民体育大会にて)

設立以来54年の永きにわたり、本市の陸上競技の普及・振興に尽力。陸上競技の統括、普及事業などを行い、様々な大会の競技部門で中心的役割を担い大会の円滑な運営に貢献するなど、陸上競技を通じてスポーツ振興や青少年の健全育成にも大きく寄与。

設立以来60年の永きにわたり、本市の卓球競技の普及・振興に尽力。会長杯争奪卓球大会や市長盾争奪卓球大会などの開催のほか、国際親善として日中交歓卓球大会の開催やソウル市・紹興市を訪問するなど、卓球競技を通じて市民スポーツの振興に大きく寄与。

設立以来65年の永きにわたり、本市の剣道の普及・振興に尽力。地区公民館・学校などで剣道の普及活動を行うほか、青少年の健全育成にも尽くしている。イギリス剣道連盟との親善稽古(げいこ)を行い、国際交流を深めるなど、市民スポーツの振興に大きく寄与。

第3次西宮市行財政改善実施計画に 取り組んでいます

平成20年度までの目標額約211億円

本市は、「愛と希望のまちづくり」を基本理念に、子どもから高齢者まですべての市民が、元気で輝くまち、だれもが住みたい、住み続けたいと願う個性豊かな文教住宅都市・西宮の実現に向けたまちづくりを進めています。現在、若い子育て世代を中心とした市民の増加が続き、人口も46万7000人を超えて県下第3位になっています。まちに活気にぎわいがあふれ、着実に阪神間の中核都市として発展しています。

一方、震災後の復旧復興事業やこれまでの長期にわたる経済不況、また高齢化・人口増にもなう行政需要の増大などにより、深刻な財政危機に直面しています。こうしたなか、市民の皆さんと共に、本市のさらなる発展を願い、未来に誇りのもてるまちを創つため、昨年11月に改訂した「第3次西宮市行財政改善実施計画」に取り組んでいます。

平成17年度、まずはじめに市長・議員など特別職の報酬や職員給料の減額、職員数の減員など内部管理経費の削減を行いました。普通交付税が当初予算額を約16億円も下回るなど、一段と財政状況が悪化しています。18年度以降も、公債費借入金返済が依然として高水準で推移し、国の三位一体改革の影響と合わせて、厳しい財政状況が続くことが予想されます。このため、さらに市長等特別職の退職手当の見直し、職員の特殊勤務手当の見直し、職員減員数の引き上げなどの内部管理経費の削減や、市民の皆さんにも痛みを分かち合っていたり市単独扶助費の見直しなどを行い、歳出削減と歳入確保を図る必要があります。市民の皆さんには、ご負担をおかけすることになりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

市の財政状況のあらまし

問合せは財政課(0798-35-3414)へ



〔市税・地方交付税の状況〕
市税収入グラフ参照は、個人所得の落ちみや地価の下落により減少が続いていましたが、平成18年度当初予算額は786億6400万円、景気回復や定率減税の縮減などにより、前年度に比べ19億円の増収見込みとなっています。
一方、地方交付税の18年度当初予算額は59億9500万円、前年度に比べ33億円もの大幅減収になっており、深刻な財源不足をもちました。
〔市債(借入金)の状況〕
普通会計の市債残高グラフ参照は、震災にもない多額の市債を発行したため、ピーク時の平成10年度末には3133億円に膨れ上がり、震災前の5年度末残高968億円の3.2倍に達してしましました。17年度末の市債残高の見込みは2302億円、今後は、年次的に新たに発行する市債を加えたとしても徐々に減少していきますが、震災前の水準に戻るには相当の期間を要します。
〔基金(貯金)の状況〕
震災後、毎年度多額の財源不足を補うため基金を取り崩し、収支の均衡を保つてきました。平成18年度においても、多額の財源不足が見込まれており、残された基金を全額取り崩さざるを得ない状況になっています。

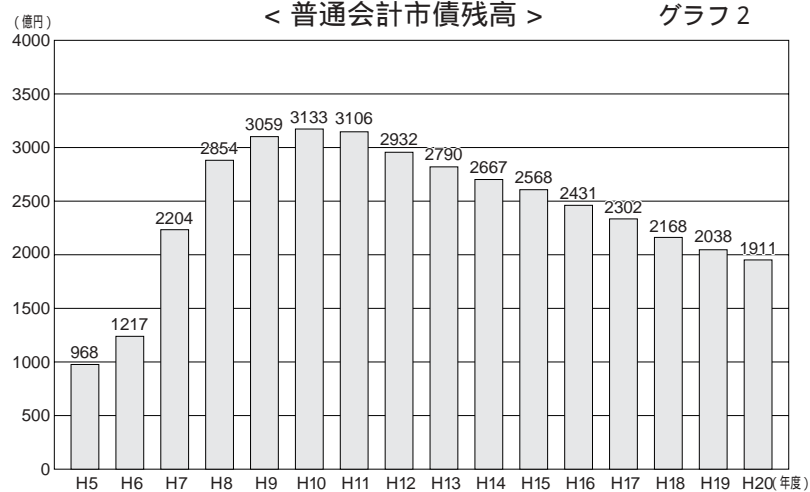
第3次西宮市行財政改善実施計画のあらまし

問合せは行財政改善グループ (0798-353494)へ

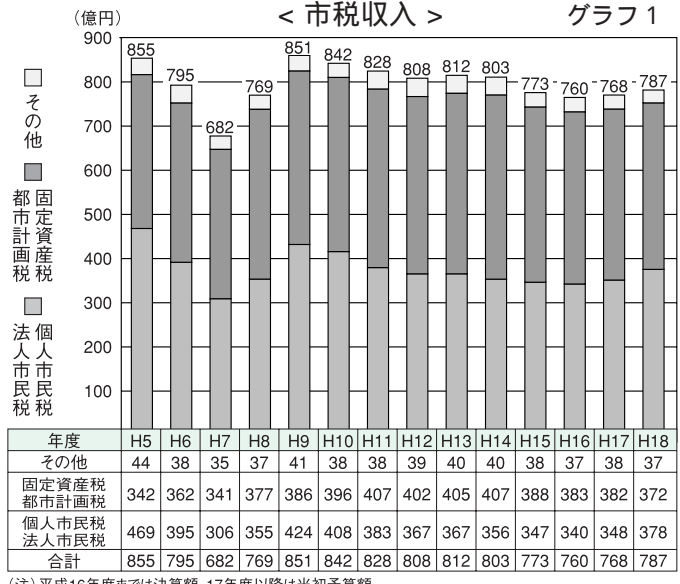
市が赤字再建団体になると、サービスクレジットの大幅な切り下げなどにより、市の独自性による自治体運営が取り組む項目の具体化や、取り組み

項目の追加を行う改訂を行いました。18年3月開催予定の市議会第12回定例会に、この改訂内容を反映した18年度当初予算案を提案します。

次ページで、同実施計画の主な取り組み内容を紹介します。



推計人口...46万7175人(女24万5141人、男22万2034人)
世帯数...19万3497 面積...100.18km2 平成18年(2006年)2月1日現在



(注)平成16年度までは決算額、17年度以降は当初予算額